

### 第3部会(第2回)意見集約表(案)

審議内容:子育てに関する部分

委員名	No.	素案ページ	区分	各委員からの意見	意見集約(案)
佐久間委員	1	127	政策4 子育て	中学生や小学校高学年くらいから、妊娠ができる時期があるということを伝えていかないといけないと思う。 女性はいつでも妊娠できて出産できると思っている人が多いが、いざ妊娠して子どもを持ちたいと思ったときに、年齢的になかなか妊娠しづらくなっているということがある。自分自身のライフサイクルを考えることは大切なので、早い時期に教育ができるとうい。	施策1「出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援」について、妊娠や出産には適齢期があることを、中学校や小学校高学年といった早い時期から教育することを盛り込めると良いのではないか。
今井委員	2	127	政策4 子育て	施策1「出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援」について、出会い・結婚と妊娠・出産というのが一つの施策に入っているところに違和感を感じる。 結婚があって妊娠・出産に至るということは理解できるが、そうすると、結婚したら必ず子どもを持たなければいけないのかと強いプレッシャーを感じる方もいるかもしれない。	施策1「出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援」について、出会い・結婚と妊娠・出産が一緒に書かれていることでプレッシャーを感じる人もいられるため、これらを一つの施策にまとめるのが適切かどうかあらためて検討すると良いのではないか。
小見委員	3	127	政策4 子育て	施策1「④子どもが安心して過ごせる居場所づくり」について、放課後児童クラブと保護者との関係づくりが課題だと感じる。 保護者からのクレームが多く、放課後児童クラブとしてはそれに対応するために、子どもの健全育成よりも子どもの管理を優先するような形にならざるを得ない状況があると聞く。放課後の子どもたちの安心・安全な場を作っていくためには、放課後児童クラブの活動に対する保護者側の理解とそれに向けた啓発も必要になるのではないか。	親同士や専門職とのつながりをつくるため、子どもの権利を知るため、教育・保育施設等と保護者との良好な関係をつくるためにも、親として育ち、学ぶことができる機会を確保することを盛り込めると良いのではないか。
今井委員	4	127	政策4 子育て	親が学ぶことはとても重要なことであり、今はコロナ禍もありその機会が限られているが、親が育つ、学ぶための教育の機会を確保してもらいたい。 虐待などにも関連してくると思われるし、自身の体のことであったり子どものことであったり、男性も含めて学ぶことは重要である。保育者へのクレームが多いという話についても、その辺りのすみ分けができる親が増えていくということも大切であり、保育者の質の向上と併せて、親のほうもしっかり育って、子どもと一緒に育む人たちのだという理解が深まっていかないと、「サービス」として求めることが非常に多くなってくると思われる。	
佐久間委員	5	127	政策4 子育て	情報のはん濫している中であるからこそ、リアルでつながったり教育を受けることの意味があると感じる。 コロナの影響で十分な妊産婦向けの教育の機会がないまま母親になり戸惑っている方が多いので、情報発信だけでなく、リアルでの教育の場や、母親同士のつながりの場、専門職とつながる場を新潟市として提供してもらえるとよいのではないか。	

### 第3部会(第2回)意見集約表(案)

審議内容:子育てに関する部分

委員名	No.	素案 ページ	区分	各委員からの意見	意見集約(案)
小見委員	6	127	政策4 子育て	産後ケアの充実は重要なポイントではないか。産後ケアは日々満員状態で、待っているお母さんもいらっしやると聞くと、産後のお母さんたちが一人目を産んで、また二人目を産みたいと思えるようなサポートを充実させることは、二人目に行くという部分でとても大事だと思う。	1人目のところの産後のケアを丁寧にしていくことが2人目、3人目につながると考えられることから、産後ケアの充実など産前産後の支援を手厚くすることを盛り込めると良いのではないかと。
佐久間委員	7	127	政策4 子育て	現状と課題の「核家族化などによる育児不安の増大」について、メンタル不調を抱えている方や、発達障がいなどの診断を受けた方も増えている。助産師として妊産婦に関わるなかで、きめ細やかな産後のケアや妊娠中のフォローはとても大事になってきていると感じる。 一番の課題は産後のケアで、産後のメンタルも下がり、体も思うように動かないなかでいかに支援があるかで大きく変わってくると思う。その後の虐待予防にもつながるほか、そこでいろいろな人に助けってもらって少しでも楽しい産後を送ることが出来たら、2人目3人目を産もうというところにつながってくると思われる。 過酷な産後を送る母親は「とても次の子は考えられない」という感じになり、その子がかわいと思えなかったり、できているのにできていないと自分を責めたりする方がとても多いため、産後のケアに最も重きを置いてほしいと思う。	
佐久間委員	8	127	政策4 子育て	産後ケアなどのサービスを使ってほしい母親に限って、お金がないから使えない、無理して自分でやっちゃって体を壊す、という悪循環があるように思うので、市として手厚く配慮してほしい。	
小池委員	9	127	政策4 子育て	1人目のところの産後ケアを丁寧にしていくことが2人目、3人目につながっていくということで、やはり1人目を子育てされている方たちは、子どもを産みたいという思いを持っておられる方たちなので、その方たちの子育てがきちんと支えられれば、自然と次につながっていくというプラスの循環を生み出すような形での書き込みができるとういのではないかと。	
小見委員	10	127	政策4 子育て	特に支援が必要な親子をどうやって見える化して、支援をしていくかということは大事だと思う。 自分自身2人目を持つにあたってハードルが高かったことを思い出すと、2人目、3人目を生みたいと思えるような、親子の産後の支援の充実が改めて大事だと思う。	

### 第3部会(第2回)意見集約表(案)

審議内容:子育てに関する部分

委員名	No.	素案ページ	区分	各委員からの意見	意見集約(案)
小池委員	11	127	政策4 子育て	新潟市が取り組んでいる施策の内容は決して不十分なものではないと思うが、それが市民レベルや地域レベルのところまで伝わっていないと感じている。 新潟市として子育て支援の旗を立てているというところをもう少し明確に見せていくことができれば、新潟市の子育てに対するイメージが変わっていくのではないかと。	新潟市として子育て支援に力を入れていることが市民に伝わるような見せ方をしていくとともに、情報発信にあたっては、必要な人に的確に届くように、より効果的な手法に見直ししていくと良いのではないかと。
小見委員	12	127	政策4 子育て	新潟市はいろいろな取組をやってきて充実しているのにあまり伝わっていないということが実感としてある。 アプリなどもそれを使うとどのような良いことがあるか分かりやすくするとか、それで本当に困っている人にきちんとアプローチできているのかといったところは常に見直ししていく必要があるのではないかと。	
長尾委員	13	127	政策4 子育て	情報発信にあたっては、どのタイミングにどの手法で伝えると効果的なのかということを押さえたうえで発信していくとよいのではないかと。	
浦野委員	14	127	政策4 子育て	子育てしやすさの構成要素としては、医療の観点からいえば、小児科や産科の数、適正な場所に配置されているか、色々なケアが有機的につながっているかといった要素があると考えられる。 そして、妊産婦に対するケア、産後のケア、乳幼児健診や学校健診などもそうであるが、それぞれの施策は動いていても、そのデータが関係者間で共有されていない。ばらばらではなく一体的な取組みができているかが大切で、そういった連携に関する指標も客観的な一つ指標になるのではないかと。	子育て支援に関係する機関が一体となって取組むことでより効果が上がることから、関係機関の連携を進めていくことを盛り込めると良いのではないかと。
小見委員	15	127	政策4 子育て	関係機関が連携していくところを、施策2でももう少し強調するよいのではないかと。 児童虐待が増えている中で、それを早期に発見してセーフティネットとしての機能を果たすためには関係機関の連携が重要だと思う。	
小池委員	16	127	政策4 子育て	他機関との連携については、子ども子育て支援法に基づく地域子育て支援事業の一つの項目として今後盛り込まれていくと見込まれるので、それを見据えて、現段階から取り組んでいくとよいのではないかと。	

### 第3部会(第2回)意見集約表(案)

審議内容:子育てに関する部分

委員名	No.	素案ページ	区分	各委員からの意見	意見集約(案)
小見委員	17	127	政策4 子育て	<p>保育園の有期雇用職員は市が主催する研修が受けられないと聞くと、子育て支援を充実させていくためにも、放課後児童クラブや児童館も含めて正規職員を増やして研修を充実させていくことが必要ではないか。</p>	<p>子育て・教育の施策を推進するうえでは、担い手の量と質が担保されることが重要であることから、施策の内容に合わせた担い手の確保や研修等を通じた質の向上を進めていくことを盛り込めると良いのではないかと。</p>
小池委員	18	127	政策4 子育て	<p>全体に共通することとして、いずれの施策も、子ども・子育て家庭に関わる多様な職種専門性が求められている。 施策内容が新潟市の現状に合わせてしっかり盛り込まれている分、その担い手の量・質両面からの確保が担保されることが政策指標につながるため「施策内容に合わせた担い手の確保と研修等を通じた質の向上」を検討していただきたい。</p>	
丸田委員	19	127	政策4 子育て	<p>他の施策にも関係することではあるが、子育て・教育の施策を推進するために、人材の確保・育成等の基盤強化に向けた戦略や施策が必ずしも明確でないことが気になる。 総合計画において人材の確保・育成等の基盤強化に向けた基本的考え方、戦略や施策をどのように取り扱うかについて検討が必要かと思われる。特に、子育て・教育の施策推進においては、人材の確保・育成等の基盤強化は大きな課題であるとの認識を持っている。</p>	
長尾委員	20	128	政策4 子育て	<p>出生率を上げるためには、労働時間の短縮であったり、経済分野と一緒にやっていかなければ解決できない部分もあると思われる。素案を見るに、関連する施策として働き方改革なども書いてあるが、子育て分野と経済分野で連携してやっていくところが見えない。 さまざまな研究結果も活かしながら、子どもに対する一分野だけではなく経済分野と協働して行って、婚姻率の上昇であったり、出生率を上げていくための取組を進めていくことが書かれていてもいいのではないかと。</p>	<p>労働時間の長さなど両親の働き方も子育てのしやすさに影響することから、経済分野と連携・協働しながら取り組みを進めていくことを盛り込めると良いのではないかと。</p>
今井委員	21	128	政策4 子育て	<p>お母さんたちの悩み事が十数年前から変わっていないと感じている。例えば育休からの復帰に際して悩むことは労働時間の長さで、通勤時間も含めて考えると保育園のお迎えに間に合わない、送迎が間に合わないという声が多い。そして、それを悩んでいるのはいつも母親で、父親がそこに関わっていないというケースが多い。 女性の就業率が上がっていることはよいことだが、そこと社会がマッチしていないと感じている。</p>	

### 第3部会(第2回)意見集約表(案)

審議内容:子育てに関する部分

委員名	No.	素案ページ	区分	各委員からの意見	意見集約(案)
今井委員	22	128	政策4 子育て	支援する側、される側と分けるのではなく、お互いに協力し合って、助け合って、子どもたちと一緒に育み合っていく協力者であるという関係性が大切だと思っている。 小さい子どもを育てている現役の母親でも、私はこれで救われたから、新しくママになった人たちにも力になりたい、子育て支援をしたいと話すが大勢いらっしやるので、そういう方々の力を活かすことも含めて、産後の支援の部分が手厚くなるとよい。	市民の中にも子育てを支援したいと考える方々が大量いることから、その方々の力を活かせるようコミュニティづくりや情報提供などの支援をすることを盛り込めると良いのではないかと。
小見委員	23	128	政策4 子育て	「ゆりかご学級」受講後に立ち上げる子育てサークルなどに対して、それらが自律的に運営できるように情報提供などの伴走支援があると子育てのコミュニティとして続いていくのではないかと。	
井上委員	24	128	政策4 子育て	施策1「⑤社会全体で子育てを応援する機運の醸成」について、男性のあり方と民間の事業のあり方と地域のあり方というものを一纏めにしているところを、もう少し丁寧に書いてもよいのではないかと。 本来サポート側に回れる人材とか機関があるはずなのにそこに情報が届きにくくなっていて、潜在的なパワーを活かしきれていないという印象を持っている。社会全体で、という枠組みをアピールすることについてもう少し力強さが欲しいと思う。	子どもは地域や社会にとっての宝物であり、子育てに対して支援することはやがて高齢者にも返ってくる未来への投資であるという意識を持ってもらうことが重要である。さまざまな家庭の形があることを前提としながら、子どもや子育て家庭を地域や社会全体で支えていくことを盛り込めるとよいのではないかと。
井上委員	25	128	政策4 子育て	子どもは社会の宝物なのだという意識が大切だと思う。 子育て世代より上の世代にとっても、子どもに対して支援することは自分たちに全部跳ね返ってくるのだと思うので、未来への投資だと思って、親が頑張ればよいというものではなく社会全体として支援することが大切だということを、施策に反映してもらいたい。	
浦野委員	26	128	政策4 子育て	子どもは地域の宝ということで、多様性を意識しながら、地域全体で育てるという意識が大事だと思う。 さまざまな家庭の形があることを前提としながら、生まれた子どもをみんなで大切に育て、地域のコミュニティなどいろいろな縦横のつながりをもって新潟市全体でそれをサポートする社会にしていくよう、この計画の中で主張できるとよいのではないかと。「子どもは宝」という原点に立った施策にすることで、それを見た多くの市民が子どもを育ててみようという意識になるのではないかと。社会保障費は限られているが、その中でうまく高齢者と分配しながら、どのように子どもに投資するかということを市民全体で考えていけるとよい。	
小池委員	27	128	政策4 子育て	子どもの総数が減り、人口に占める子どもの割合も減ってきている中で、子ども子育て支援はとて大変だと思う。 長期的な視点を持って、今暮らしている子どもたちの幸せを意識しながら施策を展開してもらいたい。	
小池委員	28	128	政策4 子育て	高齢者の方々との配分をどう考えていくかがやはり課題になってくるのではないかと。限られた財源の中ではあるが未来への投資は大切なことで、大人から次の世代のところに移していくことができるかが問われる8年間だと思う。	

### 第3部会(第2回)意見集約表(案)

審議内容:子育てに関する部分

委員名	No.	素案ページ	区分	各委員からの意見	意見集約(案)
小池委員	29	128	政策4 子育て	重点戦略6の「共生社会の実現」というところにつながっていくとよいと思う。 結婚するという形だけではない多様な家族が、親子が、地域の中に存在していく、社会の中でつながっていくということも入られるとよい。	<p>子育てをする若い世代が参加できる地域のコミュニティを築いていくことが重要であり、結婚するという形だけではない多様な家族が、地域や社会の中でつながっていくことで、重点戦略6でいう共生社会の実現にも繋がると思われる。SNSなどを通じてそういった人たちが辿り着きやすいような環境を作るとともに、コミュニティに対する補助金などの支援やボランティアが集まるような環境を作っていくことを盛り込めるとよいのではないかと。</p> <p>地域共生社会の実現に向け、子ども・子育て施策とも関連させながら重層的支援体制を構築することを盛り込めると良いのではないかと。</p> <p>子どもの権利を守ることを全体的な考え方として持ちつつ、さまざまな家庭があるなかでも経済的理由によって子どもたちが取り残されることのないように配慮することが重要ではないかと。</p>
浦野委員	30	128	政策4 子育て	地域のコミュニティを、個人情報に配慮しつつ、どのように築いていくかが課題だと思われる。 地域ごとに作るのか、それともSNSなどを使ってバーチャルに作るのか、さらに横の展開をするのか、手法はさまざまであるが、今の若い世代はまずネットで検索するため、SNSなどを通じてそういった人たちが情報に辿り着きやすいような環境を作っていくなければならない。 その中で、自分の近くに高齢者から子どもまで実際に集まるような環境があるということを知り、さらに、それに対して補助金などの支援があってボランティアも集まるような環境を作っていけると、総合的に生きるのではないかと。年齢で細かく分けられないほうがかえってよいのではないかとと思う。	
丸田委員	31	128	政策4 子育て	子育て・教育の施策を推進するために、地域共生社会の実現に向け、地域づくりの一つのかたちとして創設された「重層的支援体制」の整備(構築)をどのように位置付けるか、について検討が必要と思われる。 素案では、重層的支援体制の構築は、重点戦略6において障がいや介護との関連で記載されているが、重点戦略7の子ども・子育てにも関連する重要な取組になることから、総合計画における重層的支援体制の整備(構築)の目的や位置づけ等について検討していただきたい。	
小池委員	32	128	政策4 子育て	子どもの権利条例は、一部の子どもたちを対象としたものではなく子ども全体に通じるものだと理解している。 政策3及び政策4にわたる全体的な考え方として、子どもの権利を一つずついろいろな方向から守っていきましょうということが盛り込まれる内容になっていると望ましい。	
佐藤委員	33	128	政策4 子育て	子どもの権利を守るということについて、能力のある子どもでも遠征経費などを負担しきれず諦めざるを得ないケースもあるが、平等に子どもたちが自分のしたいことができるような環境ができるとよい。	
佐藤委員	34	128	政策4 子育て	学校をはじめとして社会全体でデジタル化が進んでいるが、必ずしもすべての家庭がパソコンなどのデジタル端末を持っているわけではないため、持っていない場合の伝達、周知についても考えていく必要があるのではないかと。	
佐久間委員	35	128	政策4 子育て	新潟市は多子支援が十分でないため子どもの数が増えるほどお金がかかってしまう。 子どもの権利を守る観点からすると、お金がないために教育を受けられないということがないようにしてもらいたい。	

### 第3部会(第2回)意見集約表(案)

審議内容:子育てに関する部分

委員名	No.	素案ページ	区分	各委員からの意見	意見集約(案)
佐藤委員	36	128	政策4 子育て	施策2「②子どもの貧困対策と民間団体等との連携」について、子ども食堂に対して「貧しい人が行く」「ご飯が食べられない人が行く」というようなイメージを持っている子どもたちがいるが、そうではなく誰でも来てよいのだということを知ってもらいたい。	子ども食堂は、貧しい人たちのための場所ではなく、誰もが来てよい場所であることがわかるようにすると良いのではないかと。
小池委員	37	128	政策4 子育て	子ども食堂について、施策2②「子どもの貧困対策と民間団体等との連携」に入れるとよいのか、施策1④「子どもが安心して過ごせる環境づくり」に入れる方がよいのか整理してもらいたい。	
井上委員	38	129	政策4 子育て	政策指標A「婚姻件数」について、これからの時代は事実婚などいろいろな形の家族が生まれてくる中で、果たしてこの指標が適切なのか少し引っかかっている。フランスなど事実婚を認めたことで出生率が上がった事例もあることからすると、いろいろな形の家族を認め合うことや社会で支え合うことが最大の目標になるのではないかと。	
佐藤委員	39	129	政策4 子育て	今後8年後を予測すると、夫婦での結婚という形は望まずにパートナーとして家族となり子育てをするような場合もあることから、この婚姻件数という指標については別の表現があってもいいと思う。	政策指標A「婚姻件数」について、これからの時代は必ずしも結婚によらない多様な家庭の形が生まれてくると考えられるため、これを指標とするのが適切かどうかあらためて検討するとよいのではないかと。
小池委員	40	129	政策4 子育て	新潟市の子育て支援の取組は、民間の取組も含めて他の自治体にひけをとらないものであると思っている。共働き率の高さに対して保育施策にも力を入れており、一般的に指摘されている出生数を高める要因は整っているにもかかわらず、なぜ新潟市は子どもの数や割合、有配偶出生率が低いのか、その理由を丁寧に分析する必要があるのではないかと。	
今井委員	41	129	政策4 子育て	政策指標C「新潟市は子育てしやすいまちと思う保護者の割合」について、産前産後ケアが足りないなど具体的にどの部分が不足しているのかを見るためには、細かいアンケートを取る必要があると思われる。	
丸田委員	42	127-129	政策4 子育て	新潟市は少子化対策に向けて、どのような政策・施策に取り組むのか。市民の目線からすると、「5つの視点」に基づき、「重点戦略」と「各分野の政策・施策」をどのように複合化あるいは総合化し、市民レベル、多様なアクターレベル、地域コミュニティレベル、行政区レベル、全市レベルでどのように重層的に取り組んでいくか、という新潟市独自の視点と対策の方向性を示す必要があるのではないかと。	新潟市は少子化対策のためにどのような政策・施策に取り組むのか、市民レベル、多様なアクターレベル、地域コミュニティレベル、行政区レベル、全市レベルでどのように重層的に取り組んでいくか、という点について新潟市独自の視点と対策の方向性を示すと良いのではないかと。